



自らまなび 心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小だより

～幸せいっぱい 학교をめざして～ 校長だより第2号
令和2年4月14日(火) 江北小学校校長 篠原 一彦

93名の1年生が 元気に入学してきました!

4月10日(金)、令和2年度の入学式。桜の花と校庭の花々に迎えられて、93名の新1年生が入学してきました。

日本中の青空を集めたような晴れた空のもと、お家の方と笑顔で校門をくぐった1年生は、きちんと並んで体育館に入場し、やや緊張した中にもその表情はこれからの小学校生活への期待感に溢れていました。

保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございます。これまで大切に育ててこられたお子様がランドセルを背負って小学生となった姿に感慨もひとしおのことと思います。私たち教職員一同は、子どもたちがそれぞれ自分の力を最大限に発揮できるよう、心を込めて指導に当たってまいります。ご支援のほどよろしくお願ひいたします。また地域の皆様にもこれまでと同様、子どもたちが安全に登下校や生活ができるよう見守っていただきますよう心よりお願い申し上げます。



お勉強も始まりました。みんな頑張っています。

6年生がよく頑張ってくれました

今年の入学式は新型コロナウイルス感染予防のため、在校生は参加できませんでした。そのような中、6年生は会場の体育館のシート敷きや椅子並べ、1年生教室の飾りつけ、校舎内外の掃除など、準備からあと片付けまで本当によく頑張ってくれました。本来であれば可愛い1年生の手を引いて入場し、元気に校歌を斉唱したかったはずで、最上級生として、どんなにか式に出たかったことだろうと思います。でもきれいに敷かれたシートや整然と並んだ椅子、美しい教室飾りにこめられた6年生の思いは十分、1年生に伝わっていました。6年生の皆さん、本当に有難う!

町より子どもたちのためにマスクを いただきました

児童代表で保健委員長さん、副委員長さんが受け取りました。



令和2年度の始業式を迎えた4月6日(月)、江北町より町内の小中学校の子どもたちに布製マスクを配付していただきました。これは学校現場でのマスク不足に対応し、子どもたちが少しでも安心して学校生活を送れるようにと、町が新学期のスタートに合わせて配付してくださったもので町内の全児童生徒に配られました。この日、保健室で町の吉田功教育長が児童代表の6年生の保健委員長さんと副委員長さんにマスクを手渡しました。このマスクは町内の縫製会社で作られたもので、洗って繰り返し使えます。吉田教育長は「学校では子どもたちが向かい合って話し合うことがあるので、マスクが必要と思い配付しました。」と話されていました。全国的にマスクの品薄状態が続いて手に入らない状況の中、翌日から早速このマスクをしてきた子どもも多く、とても助かりました。(同じデザインなので名前を記名していただくことさらに有難いです。)

あいさつで1日をさわやかに

始業式の翌日から毎朝、登校してくる子どもたちと校門であいさつを交わしています。多くの子が笑顔で「おはようございます」と気持ちよくあいさつをしてくれます。笑顔だけでなく、立ち止まって私の目を見て「校長先生、お早うございます」とおじぎまでしてくれる子どもたくさんいて、感心させられます。子どもたちと「ハイタッチ」もしたいのですが、手の平でのタッチは感染予防の観点からしない方がよいため、軽く「グータッチ」をするようにしています。とにかく、江北小の子はあいさつの上手な子が多いので、ご家庭でも地域でも、このあいさつの輪を広げていただければと思います。